Japan Lifeline

2017年3月期 第2四半期
決算説明会

2016年11月15日

日本ライフライン株式会社

本日の内容

1．2017年3月期 第2四半期決算概要

2．2017年3月期 通期業績予想

3．販売状況と今後の見通し

4．中期計画の進捗状況

Japan Lifeline

1．2017年3月期 第2四半期決算概要

2．2017年3月期 通期業績予想

取締役管理本部長

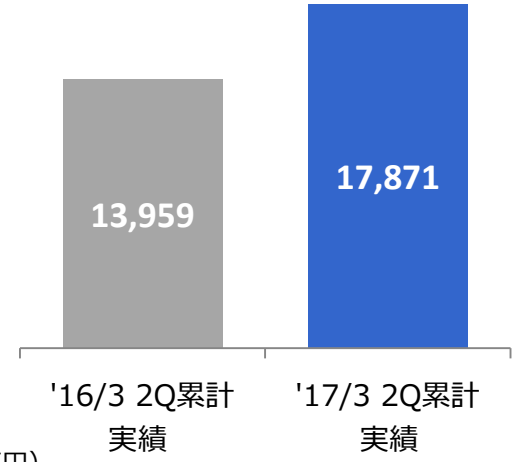
山田　健二

2017年3月期 2Q累計 連結業績ハイライト

- 自社グループ製品の売上高が引き続き伸長
- 昨年下期に導入した新商品が寄与し、仕入商品も好調に推移
- 売上高の大幅な増加に伴う、販管費比率の低下により利益水準が向上

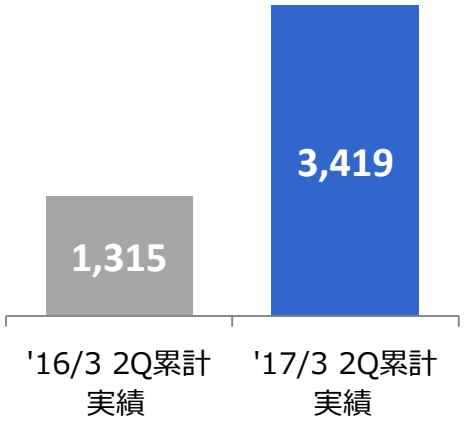
売上高

+28.0%



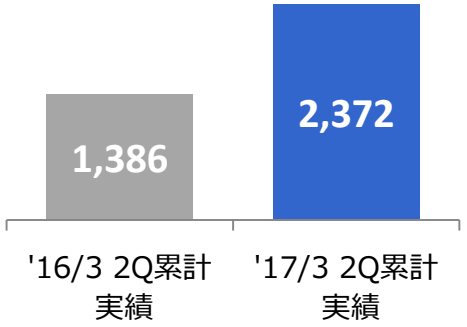
営業利益

+159.9%



親会社株主に帰属する当期純利益

+71.1%



（百万円）

Japan Lifeline

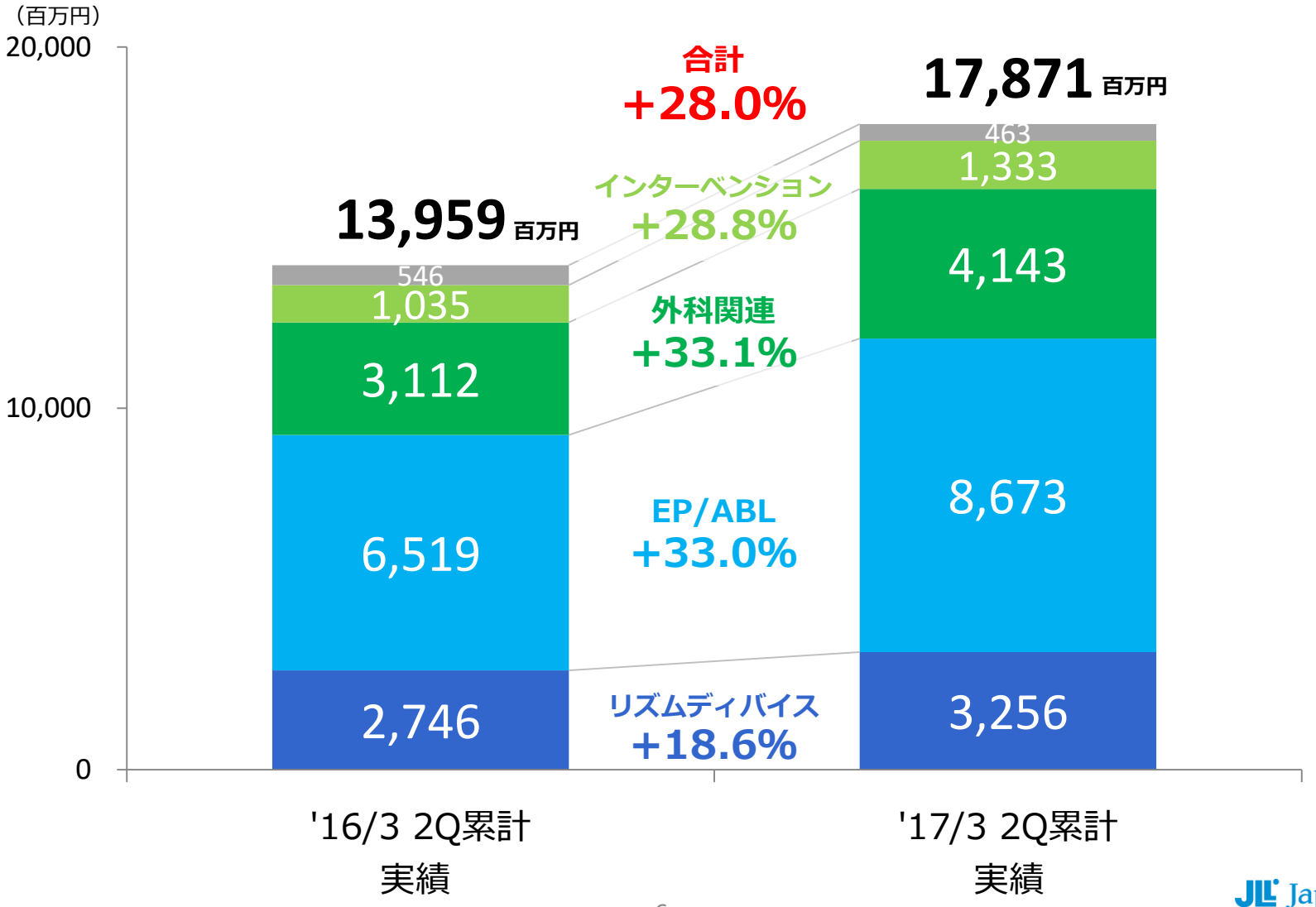
2017年3月期 2Q累計 連結業績

・対前年同期は大幅増収増益、対修正予想も増益

(百万円)	2016/3期 2Q累計 (実績)	2017/3期 2Q累計 (修正予想) (7/29発表)	2017/3期 2Q累計 (実績)	前年同期比	予想比
売上高	13,959	18,054	17,871	+28.0%	△1.0%
売上総利益	7,840	10,415	10,380	+32.4%	△0.3%
売上総利益率	56.2%	57.7%	58.1%	+1.9Pt	+0.4Pt
営業利益	1,315	3,003	3,419	+159.9%	+13.9%
営業利益率	9.4%	16.6%	19.1%	+9.7Pt	+2.5Pt
親会社株主に帰属する当期純利益	1,386	2,006	2,372	+71.1%	+18.2%
当期純利益率	9.9%	11.1%	13.3%	+3.4Pt	+2.2Pt

2017年3月期 2Q累計 品目別売上高【対前年同期】

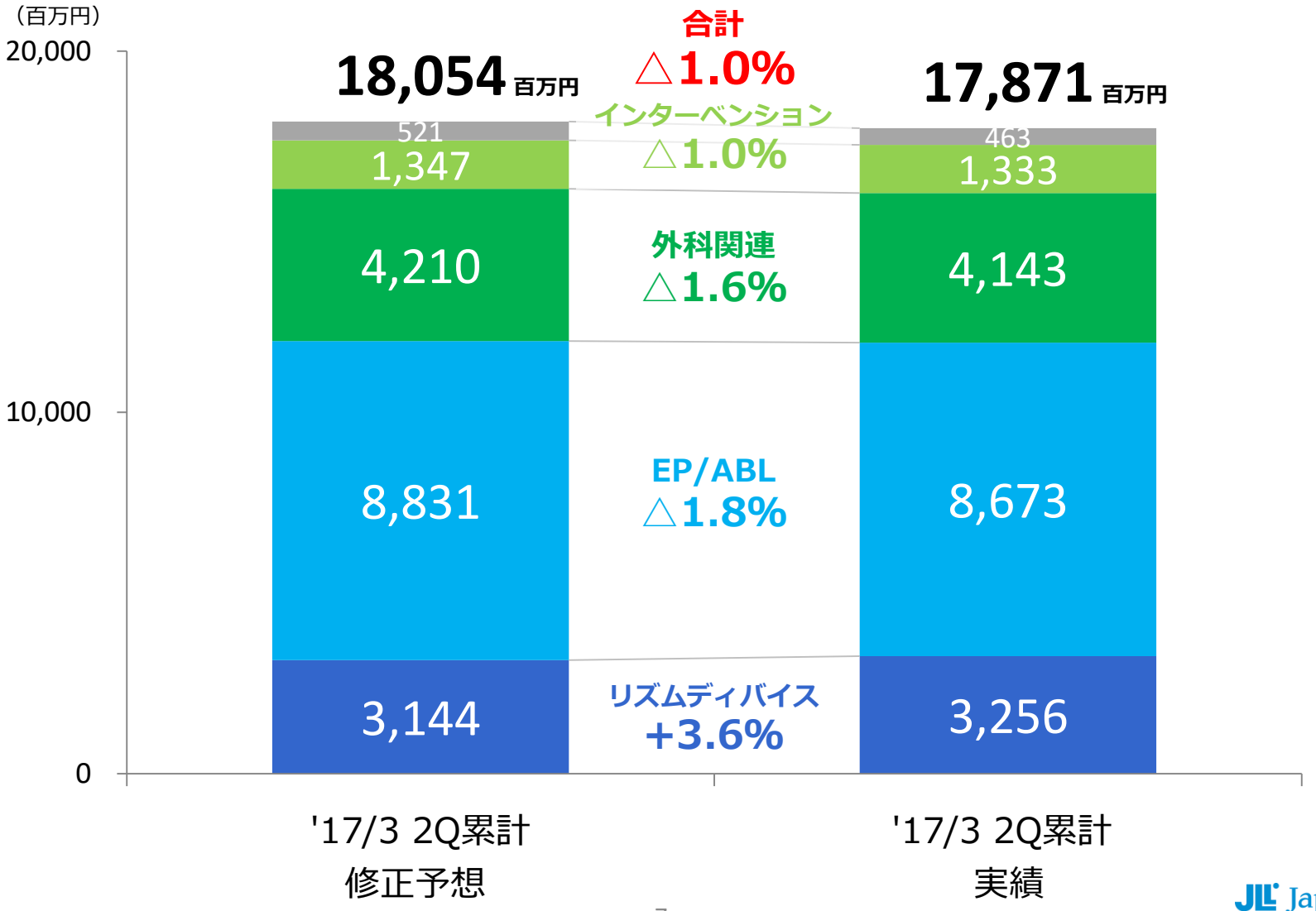
・自社製品、仕入商品ともに大幅に売上が増加



Japan Lifeline

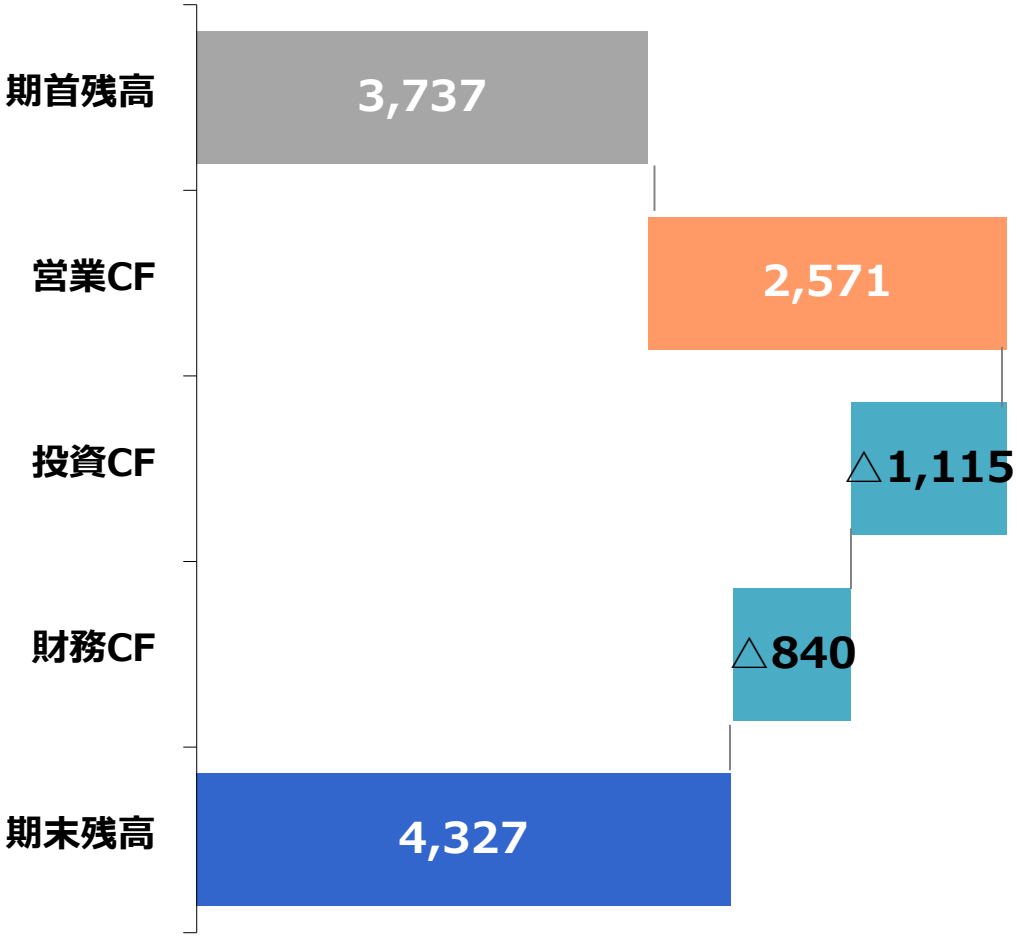
2017年3月期 2Q累計 品目別売上高【対修正予想（7/29付）】

・対修正予想では若干の未達



キャッシュ・フローの状況

・対前期末　+590百万円



（百万円）

【増加】・税金等調整前当期純利益　+3,438
・たな卸資産の減少　+593
・仕入債務の増加　+512
【減少】・売上債権の増加　△536
・法人税等支払額　△1,479

【増加】・長期貸付金の回収による収入　+639
【減少】・有形固定資産の取得による支出　△599
・長期貸付による支出　△911

【増加】・長期借入れによる収入　+900
【減少】・長期借入金の返済による支出　△1,222
・配当金の支払額　△459

※期末残高には現金及び現金同等物に係る換算差額（△25）を含む

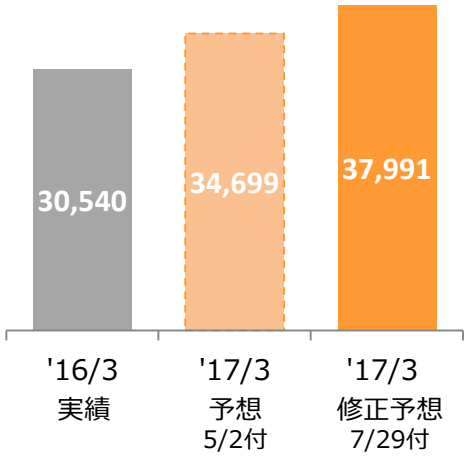
2017年3月期 通期 連結業績予想ハイライト

- 当初予想(5/2付)を7/29付にて上方修正
- 売上は計画通りの進捗を見込む
- 上期期ずれの経費予算の執行を見込む

売上高

対前期

+24.4%

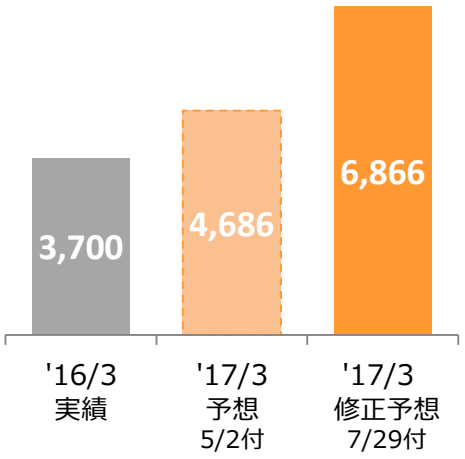


(百万円)

営業利益

対前期

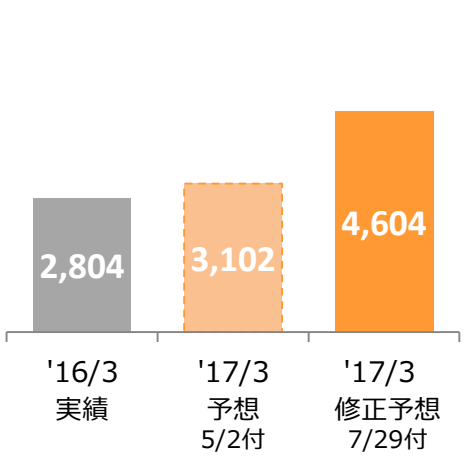
+85.6%



親会社株主に帰属する当期純利益

対前期

+64.2%



Japan Lifeline

2017年3月期 通期 連結業績予想

・公定価格改定の影響を吸収し、さらに利益率の改善を見込む

（百万円）	2015/3期 実績	2016/3期 実績	2017/3期 修正予想 （7/29付）	前期比
売　上　高	25,696	30,540	37,991	+24.4%
売上総利益	13,956	17,250	22,191	+28.6%
売上総利益率	54.3%	56.5%	58.4%	+1.9Pt
営業利益	1,845	3,700	6,866	+85.6%
営業利益率	7.2%	12.1%	18.1%	+6.0Pt
親会社株主に帰属する当期純利益	1,124	2,804	4,604	+64.2%
当期純利益率	4.4%	9.2%	12.1%	+2.9Pt

設備投資/減価償却費/研究開発費/従業員数

・設備投資、研究開発により、さらなる自社製品の拡充を図る

（百万円）		2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期（予想）
設備投資額		1,336	1,901	331	1,752	1,025
減価償却費		565	576	770	717	987
研究開発費		554	636	794	933	1,086
期末従業員数	連結	595	734	759	795	883
（名）	単体	519	549	570	610	684

（資料）　連結売上高　品目別

（百万円）	2016/3期		2017/3期				備考
	2Q累計（実績）	通期（実績）	2Q累計（実績）	対前年同期	通期（修正予想）	対前期	
ペースメーカ関連	2,409	4,804	2,781	15.5%	5,719	19.0%	
ICD関連	277	624	371	33.9%	781	25.0%	
その他	59	127	103	73.5%	165	29.9%	AED含む
リズムディバイス計	2,746	5,557	3,256	18.6%	6,665	20.0%	
EPカテーテル	4,644	10,451	6,513	40.2%	13,881	32.8%	自社製品 心腔内除細動ｶﾃｰﾃﾙ、食道温ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｶﾃｰﾃﾙ含む
ABLカテーテル	663	1,335	664	0.0%	1,372	2.8%	自社製品
その他	1,210	2,584	1,495	23.5%	3,252	25.9%	自社製品含む　RFニードル含む
EP/ABL計	6,519	14,371	8,673	33.0%	18,506	28.8%	
人工弁関連	594	1,347	879	47.9%	1,936	43.7%	
人工血管関連	2,436	5,659	3,206	31.6%	6,863	21.3%	子会社製品含む　ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ含む
人工肺関連	81	150	57	△29.4%	91	△39.2%	
外科関連計	3,112	7,158	4,143	33.1%	8,892	24.2%	
バルーン	442	893	393	△11.0%	801	△10.3%	子会社製品含む
ガイドワイヤー	218	436	190	△12.9%	413	△5.4%	自社製品
その他	374	921	749	100.3%	1,481	60.7%	子会社販売商品含む
インターベンション計	1,035	2,252	1,333	28.8%	2,696	19.7%	
その他	546	1,200	463	△15.1%	1,230	2.5%	子会社販売商品
合計	13,959	30,540	17,871	28.0%	37,991	24.4%	

（資料）　連結損益計算書

（百万円）	2016/3期				2017/3期					
	2Q累計（実績）		通期（実績）		2Q累計（実績）			通期（修正予想）		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	13,959	100.0%	30,540	100.0%	17,871	100.0%	28.0%	37,991	100.0%	24.4%
売上原価	6,119	43.8%	13,289	43.5%	7,490	41.9%	22.4%	15,800	41.6%	18.9%
売上総利益	7,840	56.2%	17,250	56.5%	10,380	58.1%	32.4%	22,191	58.4%	28.6%
販管費	6,524	46.7%	13,550	44.4%	6,960	38.9%	6.7%	15,324	40.3%	13.1%
営業利益	1,315	9.4%	3,700	12.1%	3,419	19.1%	159.9%	6,866	18.1%	85.6%
営業外収益	127	0.9%	240	0.8%	137	0.8%	8.0%	221	0.6%	△8.0%
営業外費用	151	1.1%	365	1.2%	142	0.8%	△6.4%	151	0.4%	△58.5%
経常利益	1,291	9.3%	3,574	11.7%	3,415	19.1%	164.5%	6,935	18.3%	94.0%
特別利益	1,100	7.9%	1,104	3.6%	24	0.1%	△97.8%	18	0.0%	△98.3%
特別損失	66	0.5%	163	0.5%	2	0.0%	△96.9%	10	0.0%	△93.7%
税引前利益	2,325	16.7%	4,514	14.8%	3,438	19.2%	47.9%	6,944	18.3%	53.8%
税金費用	938	6.7%	1,710	5.6%	1,065	6.0%	13.6%	2,339	6.2%	36.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,386	9.9%	2,804	9.2%	2,372	13.3%	71.1%	4,604	12.1%	64.2%

３．販売状況と今後の見通し

代表取締役社長

鈴木　啓介

リズムディバイス　’17/3 2Q累計実績

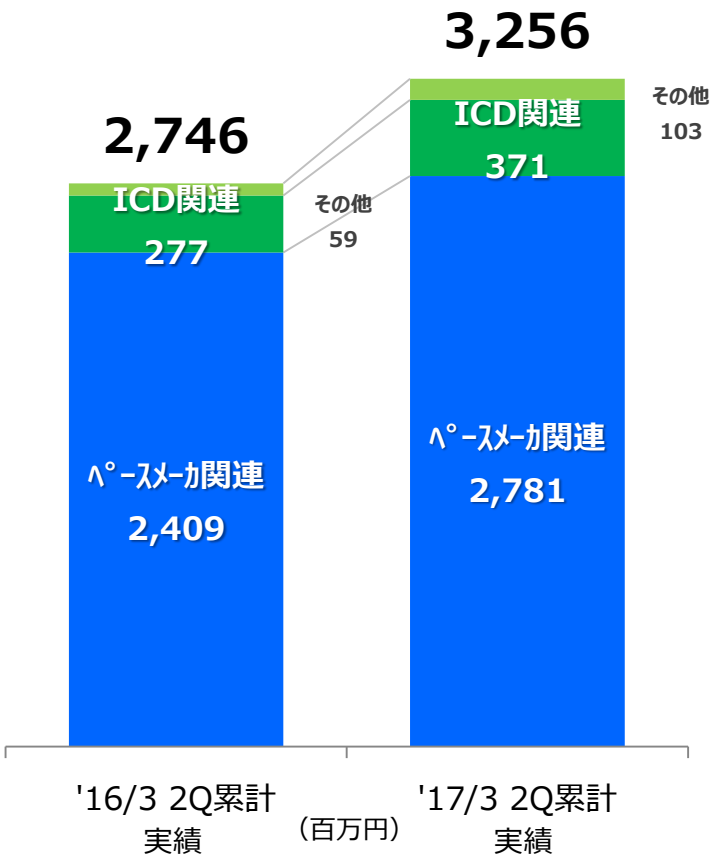
全身MRI対応ペースメーカが寄与　　**前年同期比 +18.6%**

- **ペースメーカ関連**
  - 全身MRI対応の「KORA250」導入により、回復が進む



「KORA250」

- **ICD関連**
  - 昨年導入した小型、長寿命のICD「PLATINIUM」の販売数量が増加



Japan Lifeline

リズムディバイス　’17/3 通期見通し

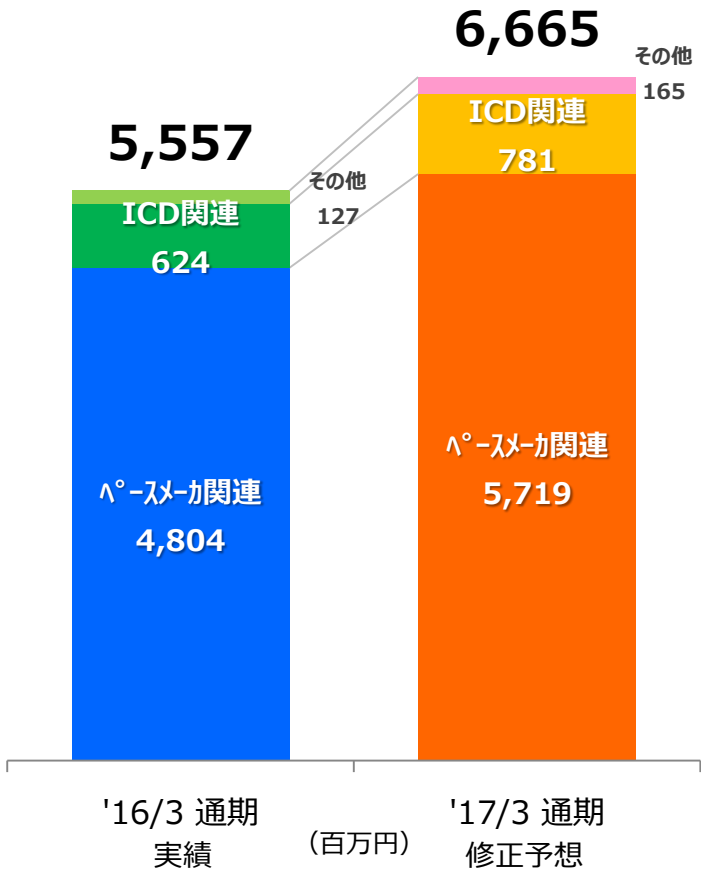
引き続き堅調な売上増を見込む　　**前期比 +20.0%**

- **ペースメーカ関連**
  - 「KORA250」の一層の増加を見込む
  - ペースメーカはタインドリードの導入によりさらに拡販を進める

- **ICD関連**
  - 「PLATINIUM」シリーズのCRT-Dを2Qに導入

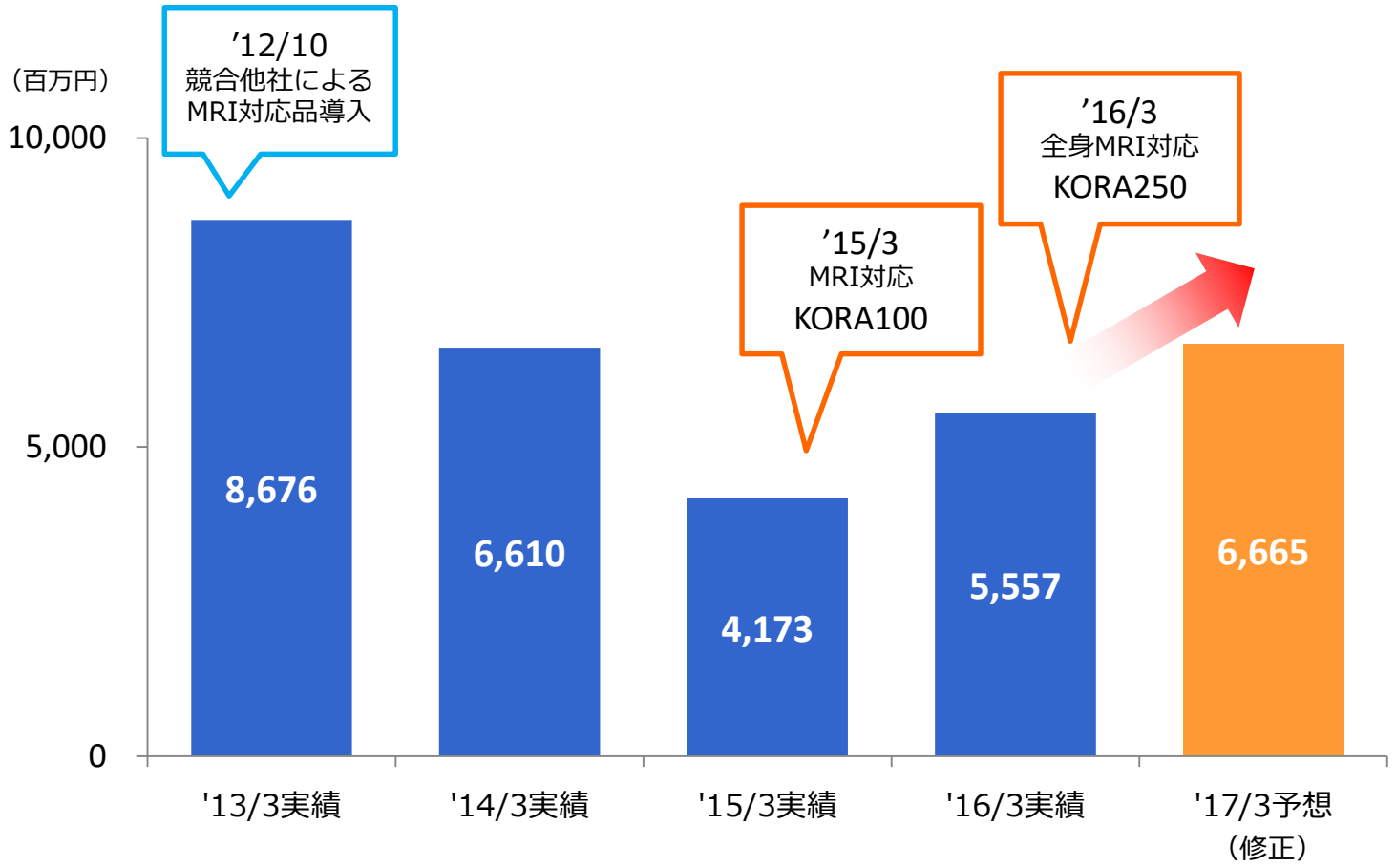


「PLATINIUM　CRT-D」



リズムディバイス　’17/3 通期見通し

- **MRI対応商品の導入により回復が進む**



Japan Lifeline

EP/アブレーション　’17/3 2Q実績

心房細動治療の関連製品が伸長　　**前年同期比 +33.0%**

- **EPカテーテル**
  - 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」がさらに伸長
  - 食道温モニタリングシステム「Esophastar」も堅調に推移

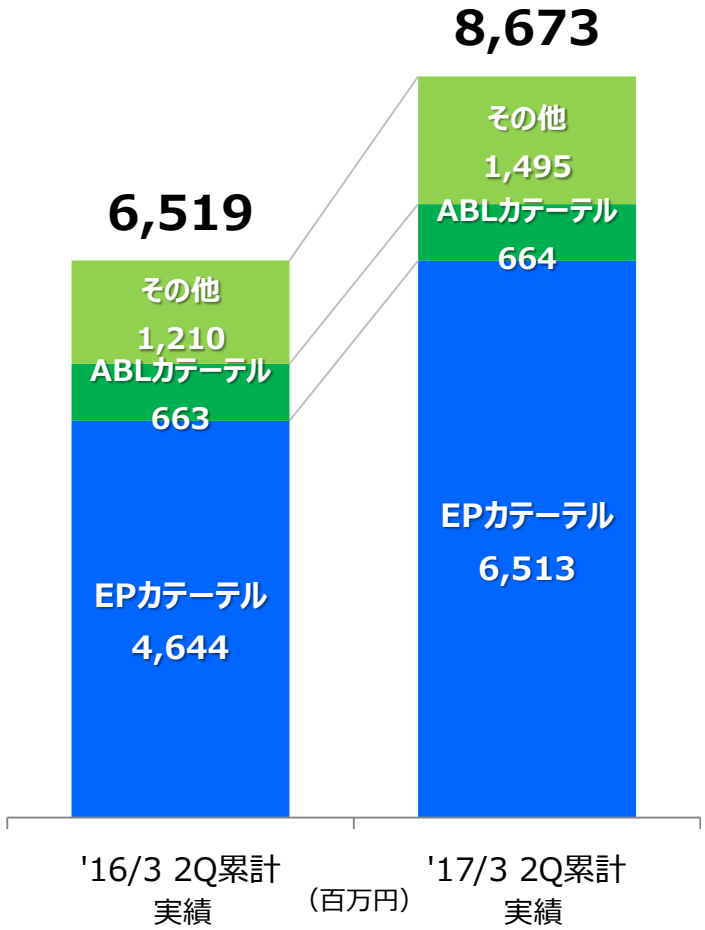


「Shock AT」



「BeeAT」

- **高周波心房中隔穿刺針**
  - 「RFニードル」の浸透が進む



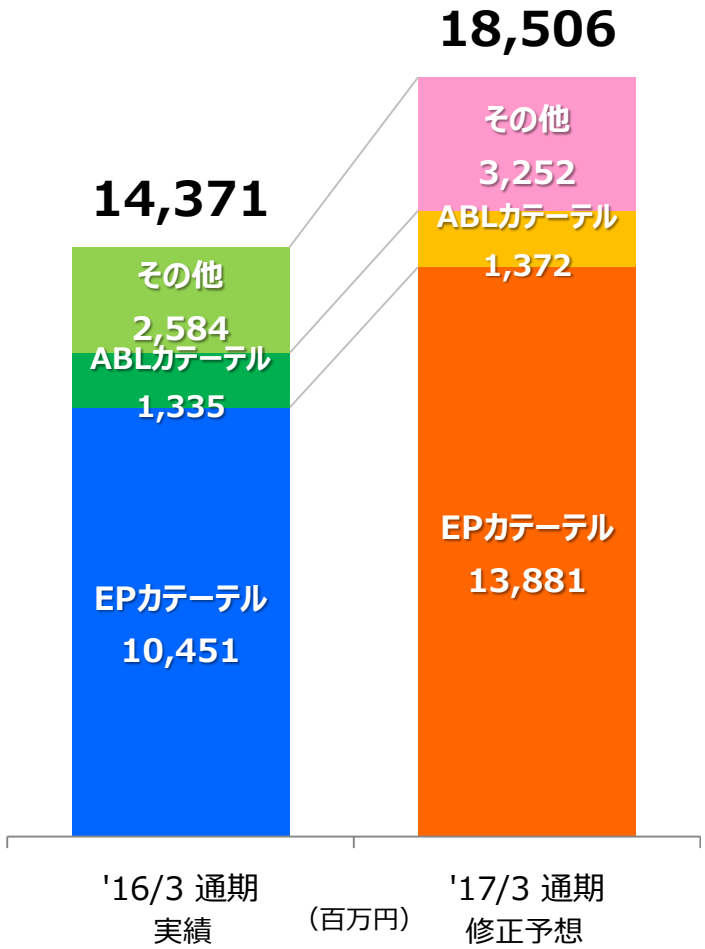
EP/アブレーション　’17/3 通期見通し

市場の拡大を背景にさらに成長　　**前期比　+28.8%**

- **心房細動関連製品が牽引**
  - 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」
  - 高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」
  - 食道温モニタリングシステム「Esophastar」

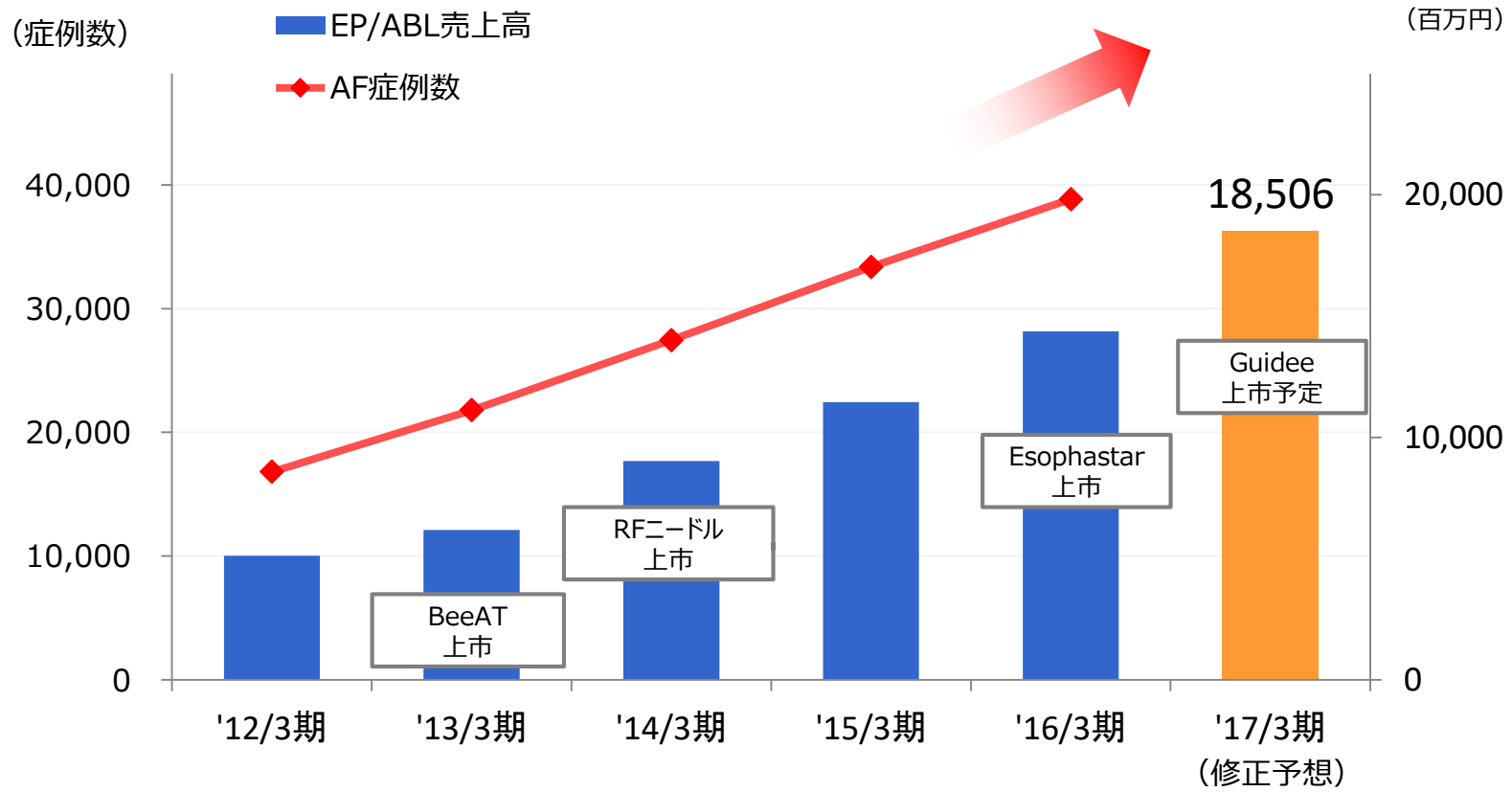


「RFニードル」



EP/アブレーション　’17/3 通期見通し

- **心房細動(AF)のアブレーション治療の増加が続く**



※症例数は自社推計　暦年ベース

Japan Lifeline

EP/アブレーション　’17/3 通期見通し

自社グループ製品			仕入商品
日本ライフライン社製			BAYLIS MEDICAL社製
心腔内除細動システム 専用カテーテル「BeeAT」	食道温モニタリングシステム 専用カテーテル 「Esophastar」	スティーラブルシース 「Guidee」	高周波心房中隔穿刺針 「RFニードル」
		NEW 	
2012/10発売	2015/4発売	**2017/1発売予定**	2013/5発売
ONLY ONE			ONLY ONE

EP/アブレーション　’17/3 通期見通し

- **心房細動関連　新製品を導入**
  - 自社製スティーラブルシース「Guidee」
  - 来年1月の本格販売開始を予定（承認取得済）
  - 先端部の可動により、アブレーションカテーテル、RF ニードル等を目的部位へ正確に誘導可能

特長

- 先端チップのテーパー加工により穿刺抵抗を減少
- ダイヤル回転操作による繊細なカーブ調整が可能
- 左右ともに180度以上の屈曲が可能



先端部



グリップ部



アブレーションカテーテル
との併用イメージ

スティーラブルシース「Guidee（ガイディー）」 保険償還価格　130,000円

Japan Lifeline

EP/アブレーション　’17/3 通期見通し

- **EPカテーテルも品揃えを強化**
  - CSルーメン付きEPカテーテル
  - 本年12月より本格販売開始を予定
  - 多様なアブレーション症例をサポート

特長

- CS（coronary sinus：冠静脈洞）遠位部へのアクセスが容易
- カテーテルの内腔（ルーメン）を用いたCS入口部の造影が可能
- ガイドワイヤー、EPカテーテルの併用が可能



EPstar Fix
CS with inner lumen



2Fr EPカテーテルとの
併用イメージ

EP Star Fix「CS with inner lumen」保険償還価格　87,800円

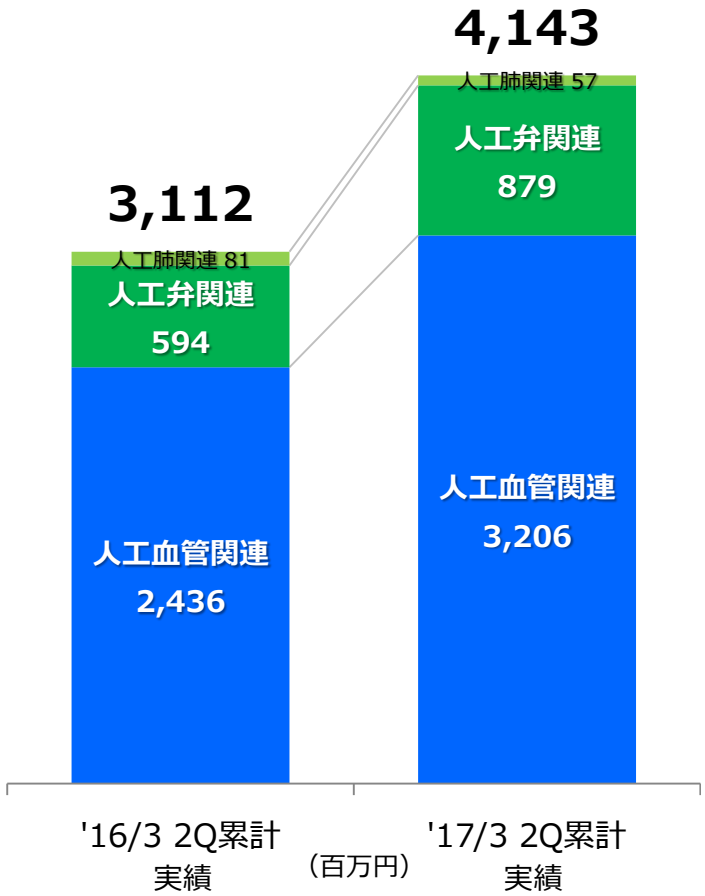
外科関連　’17/3 2Q実績

腹部用ステントグラフトが寄与　　**前年同期比 +33.1%**

- **人工血管関連が好調に推移**
  - 腹部用ステントグラフト「AFXステントグラフトシステム」
  - オンリーワン製品の「J-Graft」オープンステントグラフトも増加
- **生体弁は新商品が増加**
  - 耐久性を高めた生体弁「CROWN PRT」



「CROWN PRT」



外科関連　’17/3 2Q実績

- **腹部用ステントグラフトが順調に増加**
  - 「AFXステントグラフトシステム」
  - 本年1月販売開始
  - エンドロジックス社（米）製品
  - さらなる販売数の増加を目指す



「AFX」メインボディ



「AFX」デリバリーシステム



腹部大動脈瘤への留置
イメージ

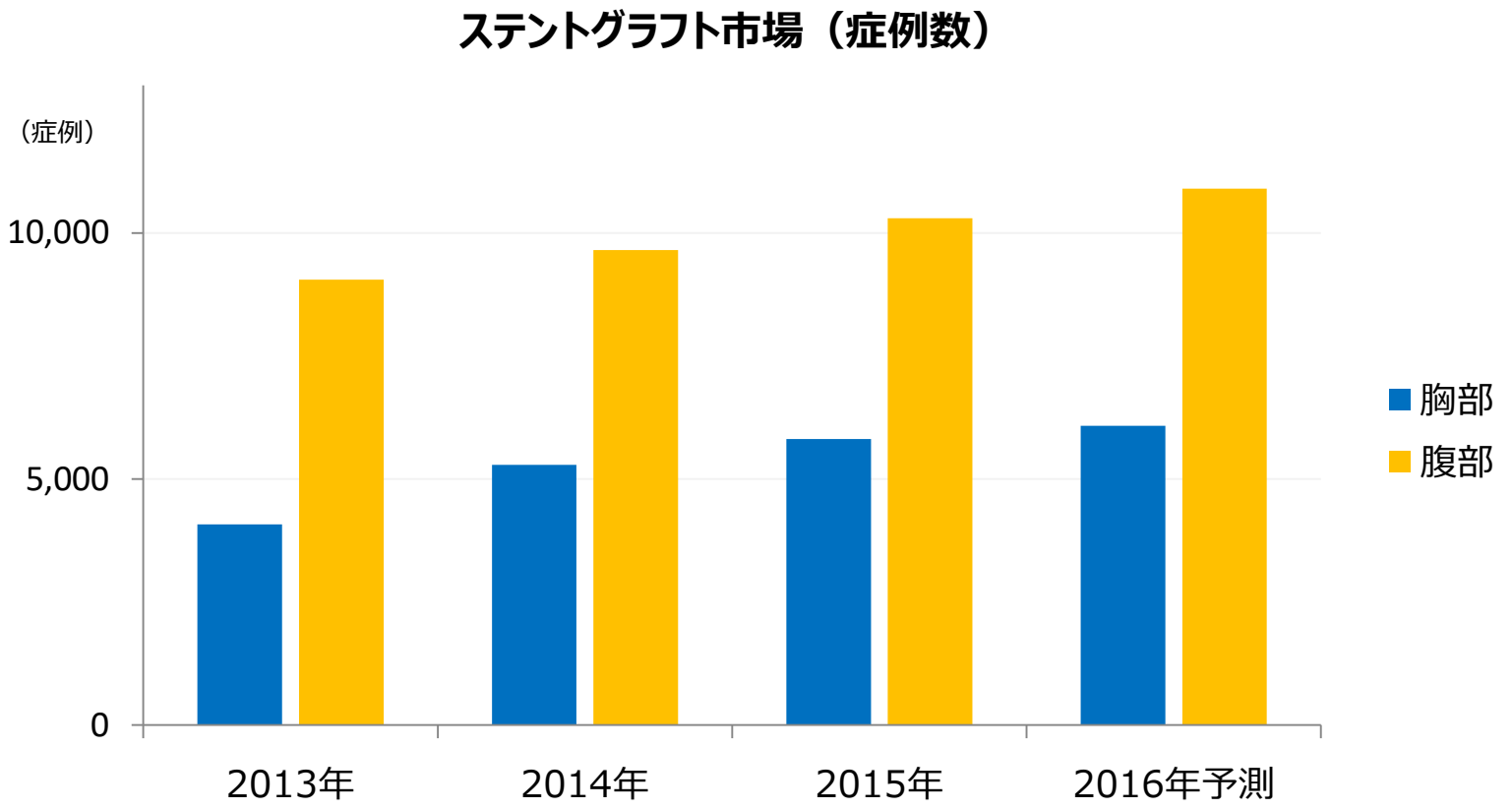
外科関連　’17/3 2Q実績

- **大動脈治療における豊富なラインナップ**

開胸手術		経皮的治療	
自社グループ製品		仕入商品	
人工血管	オープンステントグラフト	胸部用ステントグラフト	腹部用ステントグラフト
J-Graft	J-Graftオープンステントグラフト	RELAY Plus	AFX
JUNKEN MEDICAL社製	JUNKEN MEDICAL社製	Bolton Medical社製	Endologix社製
	 2014/7発売 ONLY ONE	 2013/5発売	NEW  2016/1発売

外科関連　’17/3 2Q実績

- **ステントグラフト市場は胸腹部とも増加が続く**
  - さらに新商品の導入準備を進める



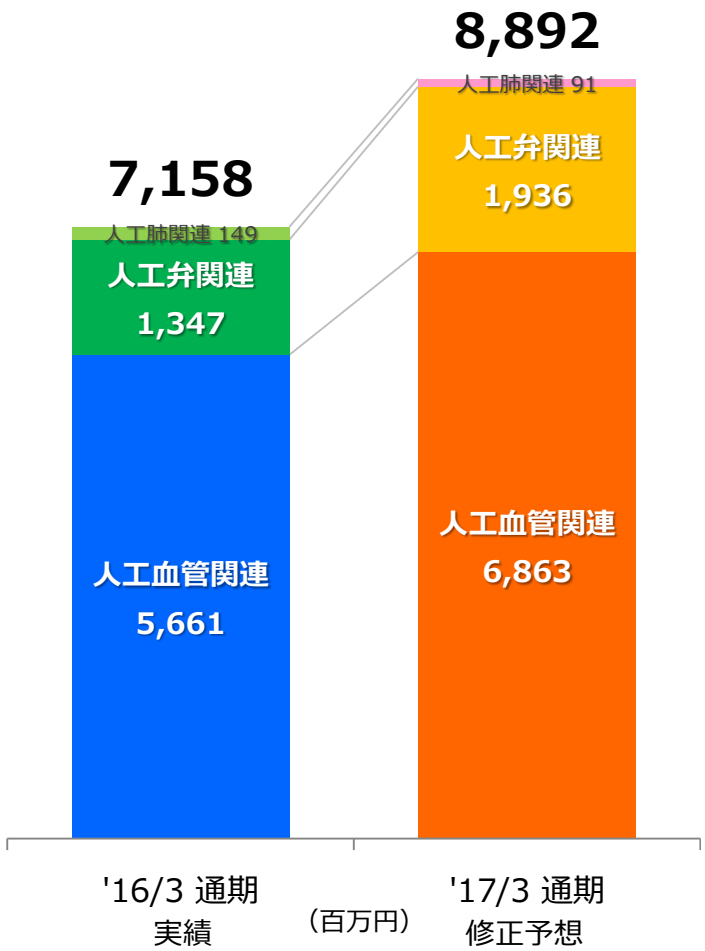
※アール アンド ディ社「医療機器・用品年鑑2016年版」を基に作成

外科関連　’17/3 通期見通し

腹部用ステントグラフトが大きく寄与　　**前期比 +24.2%**

- **腹部用ステントグラフト**
  - 「AFXステントグラフトシステム」
  - さらなる販売数量の増加を見込む
  - オープンステントグラフトが伸長

- **人工弁関連**
  - 「CROWN PRT」が伸長
  - ステントレス生体弁
    「SOLO SMART」も拡販



外科関連　’17/3 通期見通し

・オンリーワン製品の改良品を導入

– オープンステントグラフト
– 「J-Graft FROZENIX」
– 従来品のデリバリーシステムを改良

特長

- 操作性を高めたハンドル形状
- 新たにガイドワイヤールーメンを採用



オープンステントグラフト
「J-Graft FROZENIX」



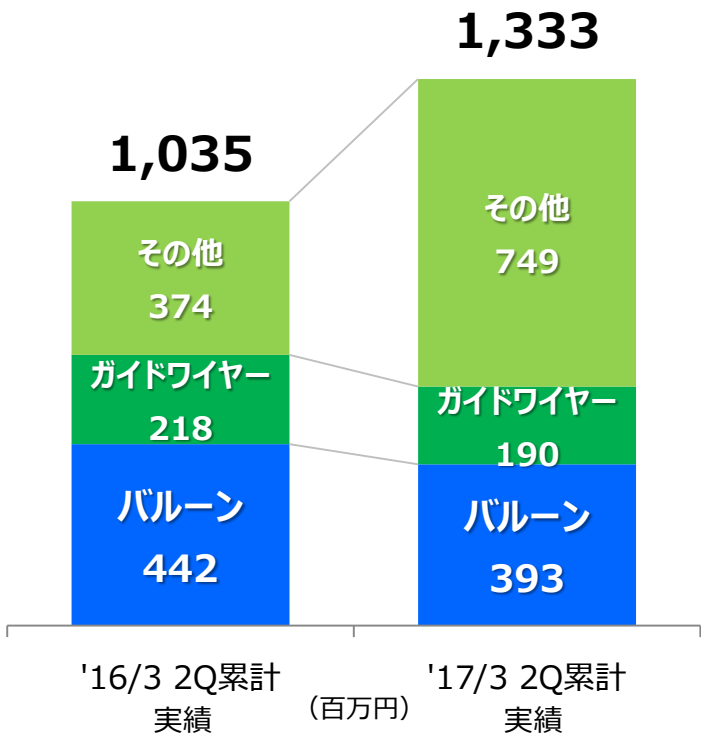
さらに海外展開に向けた準備を進める

Japan Lifeline

インターベンション　’17/3 2Q実績

貫通用カテーテル等が寄与　　**前年同期比 +28.8%**

- **公定価格引下げにより減収**
  - バルーンカテーテル
  - ガイドワイヤー
- **貫通用カテーテル**
  - 「GuideLiner」が寄与
  - 末梢用モデルも導入
- **心房中隔欠損閉鎖器具**
  - 「Figulla Flex Ⅱ」が寄与



インターベンション　’17/3 2Q実績

- **心房中隔欠損閉鎖器具の普及に努める**
  - 「Figulla Flex Ⅱ」
  - オクルテック社（スイス）製品
  - 本年2月販売開始
  - 既に50%を超えるシェアを獲得
  - 国内におけるパイオニアとしての経験を生かす

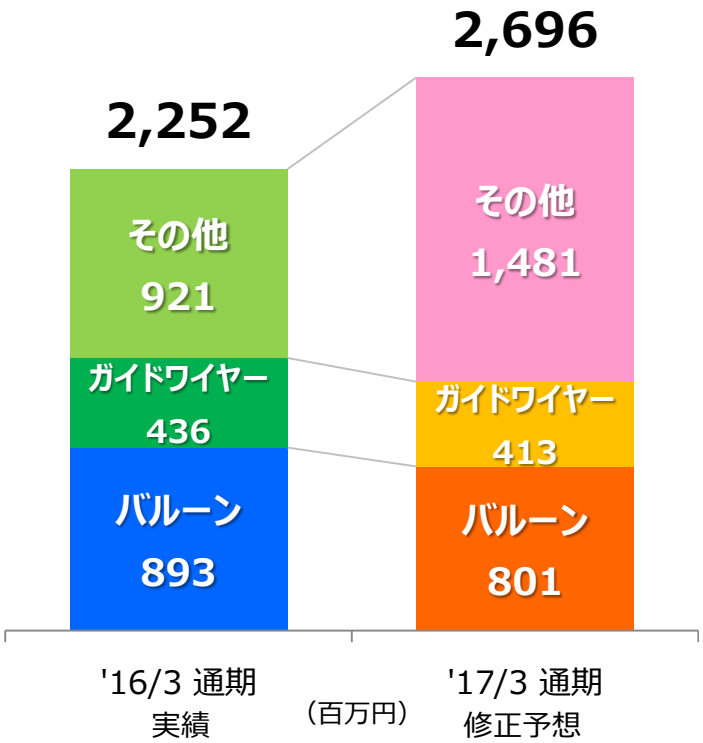


「Figulla Flex Ⅱ」

インターベンション　’17/3 通期見通し

貫通用カテーテル、心房中隔欠損閉鎖器具が増加　　**前期比 +19.7%**

- **厳しい販売環境が続く**
  - バルーンカテーテル
  - ガイドワイヤー
- **貫通用カテーテル**
  - 「GuideLiner」
  - 末梢用「GuideLiner PV」も拡販
- **心房中隔欠損閉鎖器具**
  - 「Figulla Flex Ⅱ」の一層の普及を図る

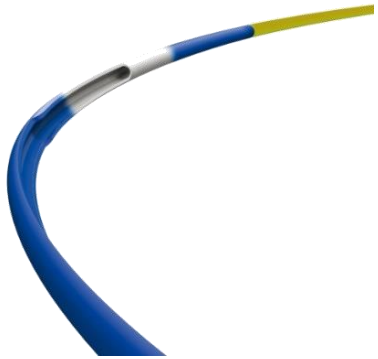


インターベンション　’17/3 通期見通し

- **ガイドライナーのさらなる浸透を目指す**
  - ガイディングエクステンションカテーテル「GuideLiner」
  - 治療部位へのデバイス送達のサポート性を高める
  - PCI症例の10%での使用を目指す

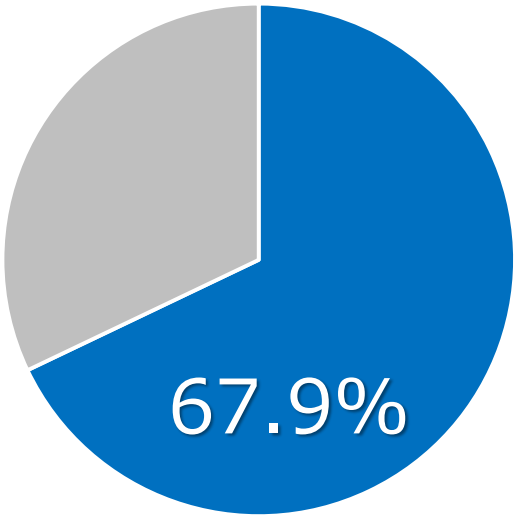


使用イメージ



「GuideLiner」

貫通用カテーテル
（ガイディングエクステンション）
数量シェア*

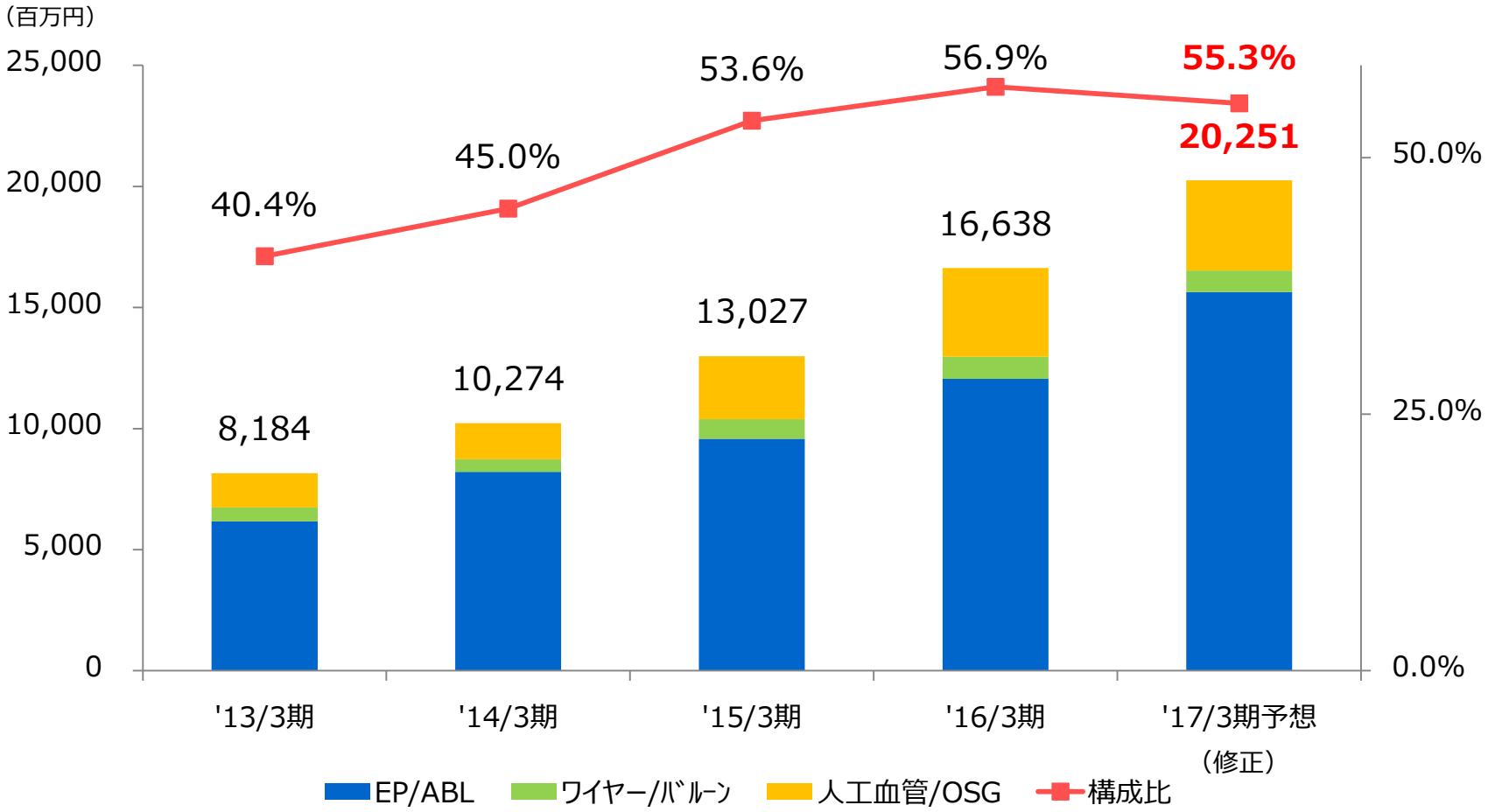


※アール アンド ディ社「医療機器・用品年鑑2016年版」より

Japan Lifeline

自社グループ製品売上高

- ラインナップ拡充による成長の継続
- 仕入商品の売上増により構成比は低下



※自社グループ製品は、単体売上高に占める自社グループ製品の比率

Japan Lifeline

4. 中期計画の状況

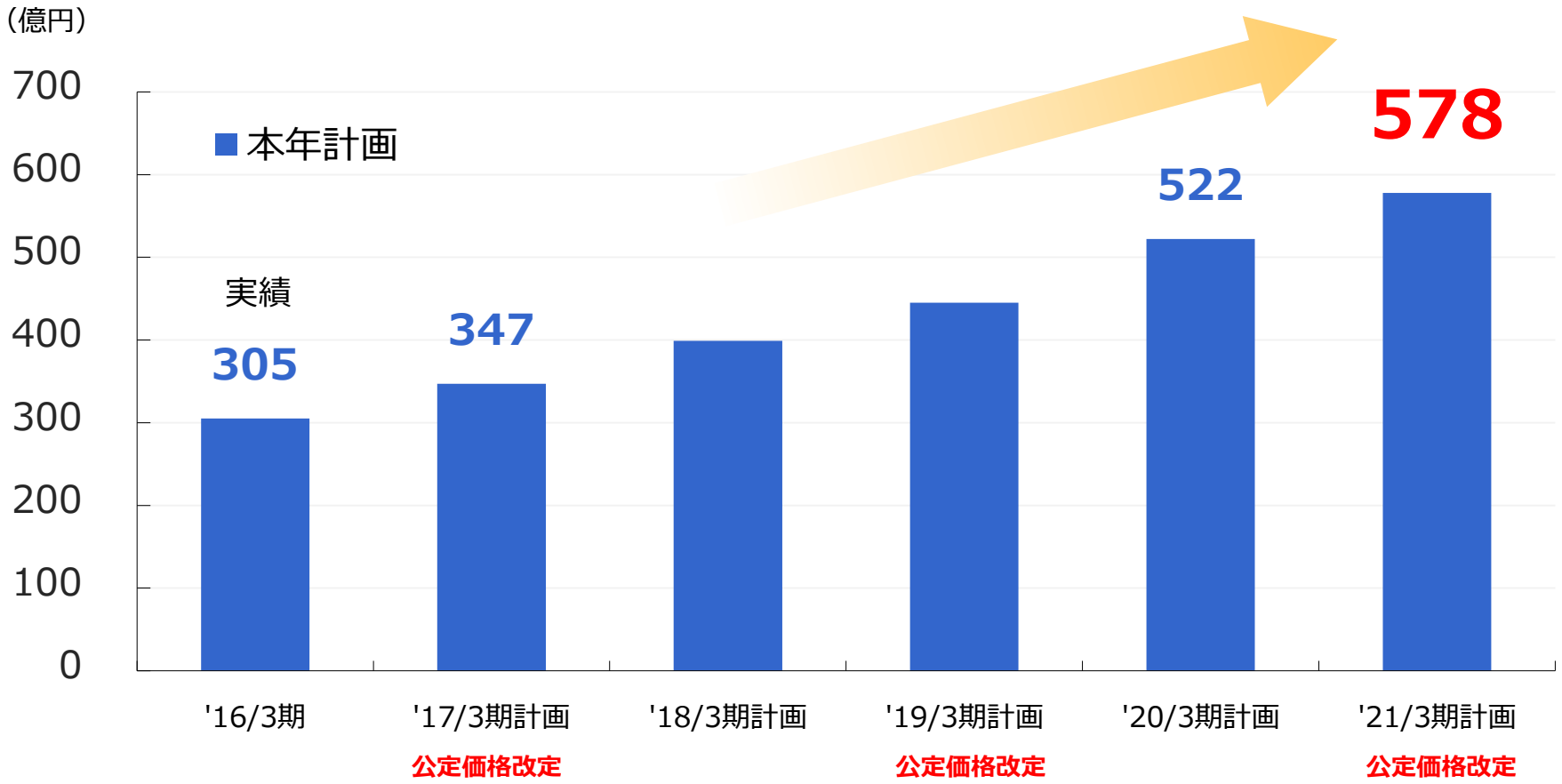
代表取締役社長

鈴木　啓介

本年５月発表 中期計画

<再掲>

2021年３月期
連結売上高578億円、営業利益率18%



※計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない

Japan Lifeline

中期計画

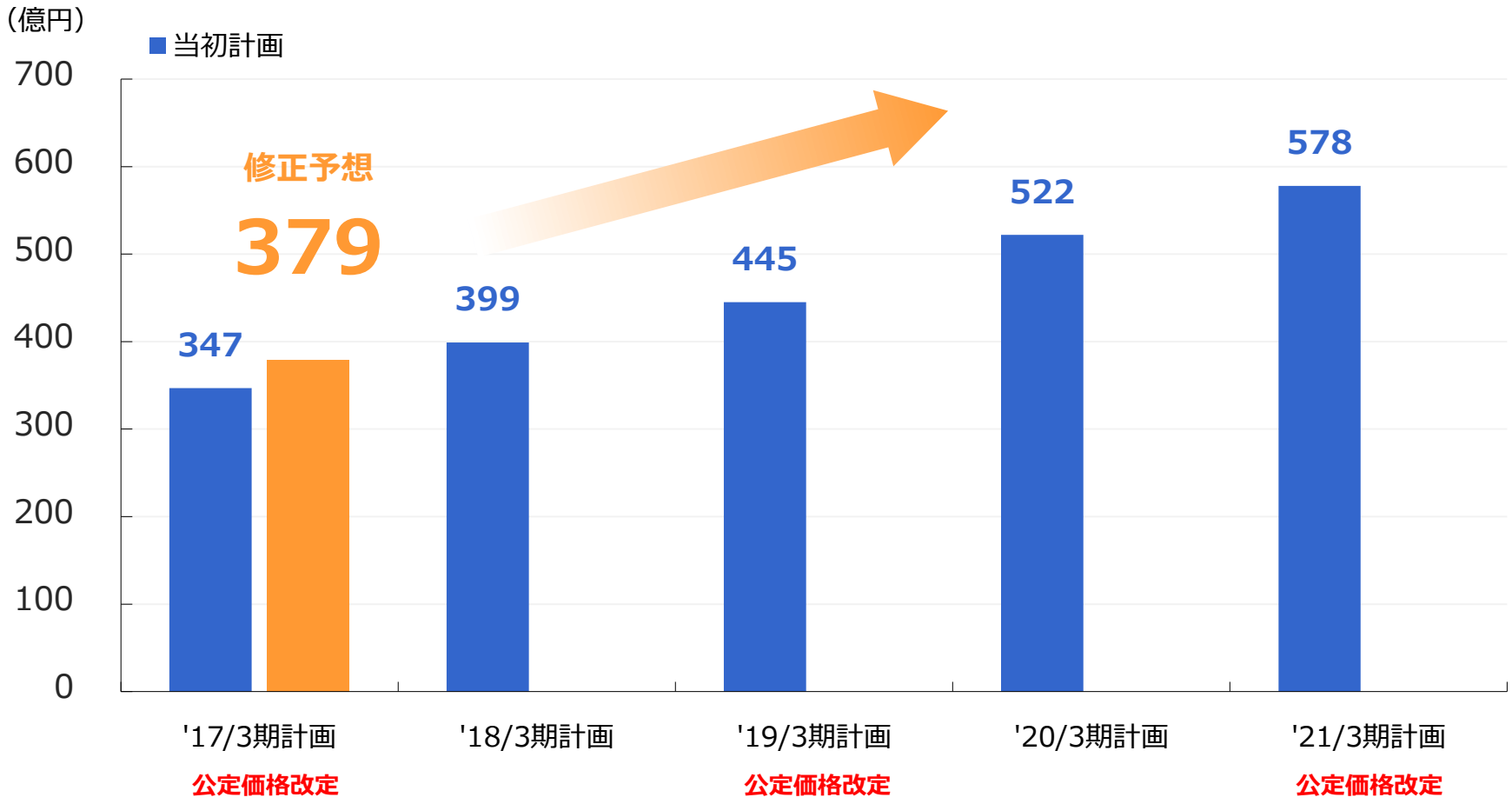
本年7月に進行期を上方修正

＜修正前＞		＜修正後＞
’17/3 期		’17/3 期
連結売上高		連結売上高
347億円	→	**379億円**
営業利益率		営業利益率
13.5%		**18.1%**

- **EP/アブレーションの1Q売上増を反映**
- **売上増加に伴う収益性の改善**

中期計画

当期の上方修正を踏まえ、来年春に計画をローリング



※計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない

Japan Lifeline

中期計画　導入商品　’18/3期①

その他

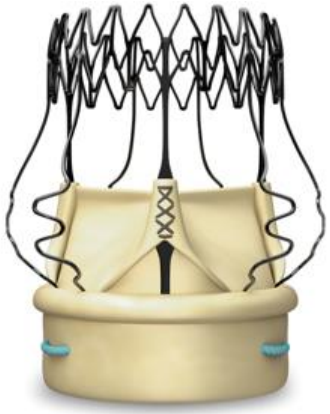
消化管ステント

- 大腸用ステント
- オープンステントグラフトの技術を応用
- 2018年3月期上期 上市予定

外科関連

人工心臓弁

- スーチャレス生体弁「PERCEVAL」
- 縫合が不要であり、手技時間の短縮が可能
- 新保険償還区分を予定
- 2018年3月期下期 上市予定



スーチャレス生体弁「PERCEVAL」

中期計画　導入商品　’18/3期②

EP/アブレーション

バルーンアブレーション

- 「Heart Light」
- レーザーによる線上焼灼が可能
- 内視鏡画像により焼灼状況の確認が可能
- 新保険償還区分を予定
- 2018年3月期下期 上市予定



「Heart Light内視鏡アブレーションシステム」

EP/アブレーション

心腔内エコーシステム

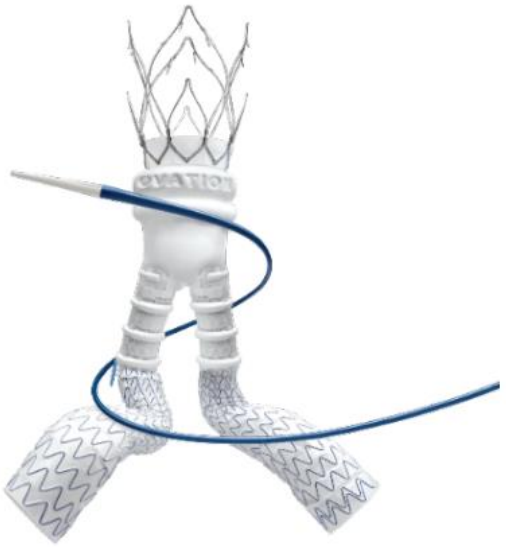
- 3Dエコー技術により心腔内の立体的把握が可能
- 2018年3月期下期 上市予定

中期計画　導入商品　’18/3期～’19/3期

外科関連

腹部用ステントグラフト

- 「Ovation」
- 細く柔軟な構造により多様な症例に対応
- 2018年3月期下期 上市予定
- 新保険償還区分を予定



「Ovation」

リズムディバイス

CRT-D

- 「PLATINIUM SonR」
- 独自センサーによる最適な心臓再同期療法が可能
- 2019年3月期上期 上市予定

中期計画　導入商品　’19/3期～’20/3期

インターベンション

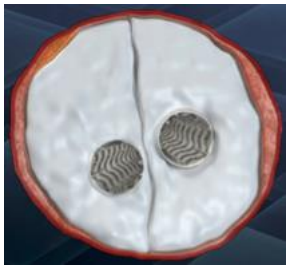
末梢用DCB

- 下肢用ドラッグコーティングバルーン
- 2019年3月期下期 上市予定
- 新保険償還区分を予定

外科関連

腹部用ステントグラフト

- 「Nellix」
- 大動脈瘤内部へポリマーを充填し固定
- 2020年3月期上期 上市予定
- 新保険償還区分を予定



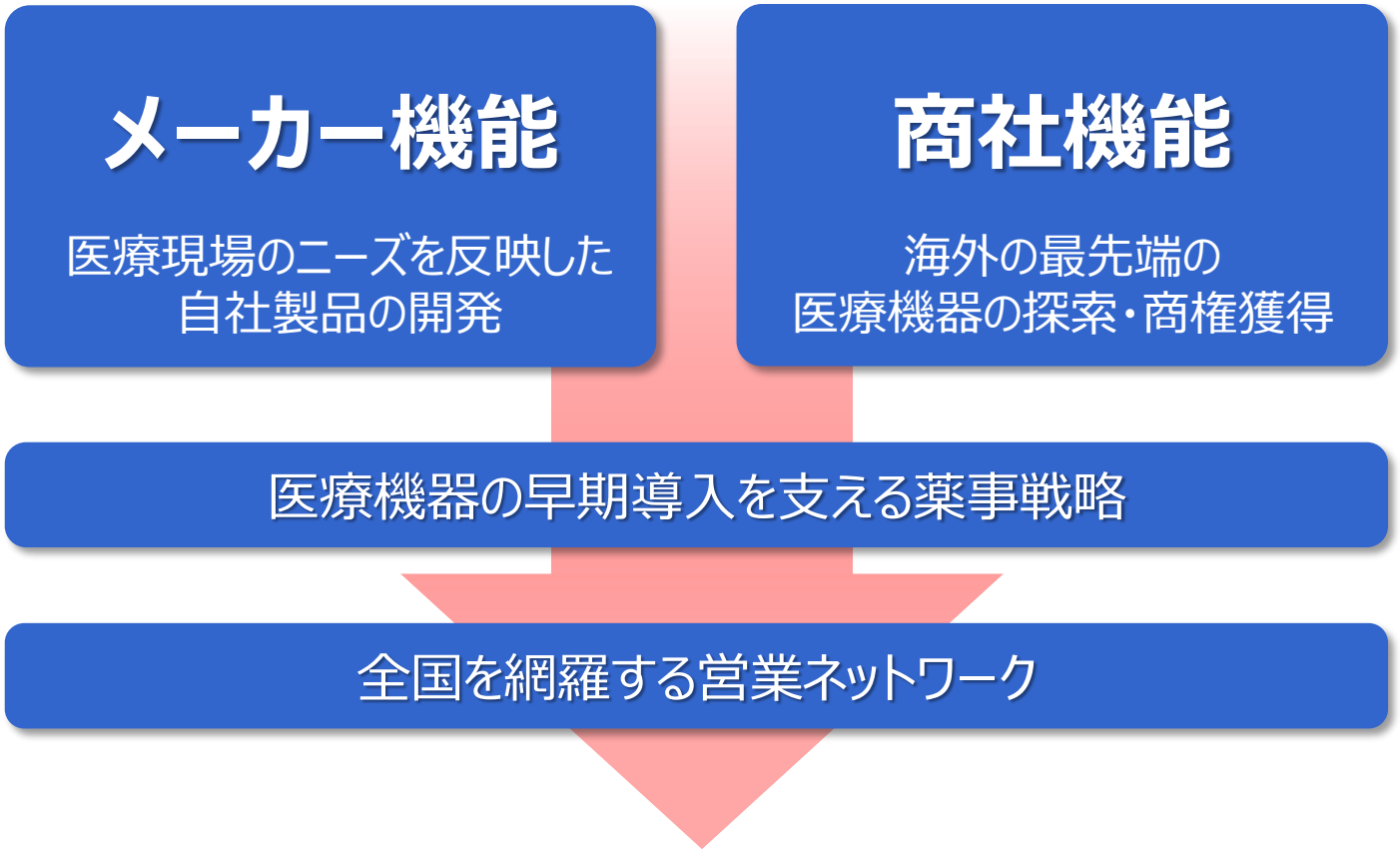
ポリマー充填後の
大動脈瘤の断面図



「Nellix」

上記以外にも複数案件の開発・導入計画を進める

当社の成長基盤



両機能をともに強化し、一層の成長を目指す



... for Patient Comfort.

Japan Lifeline

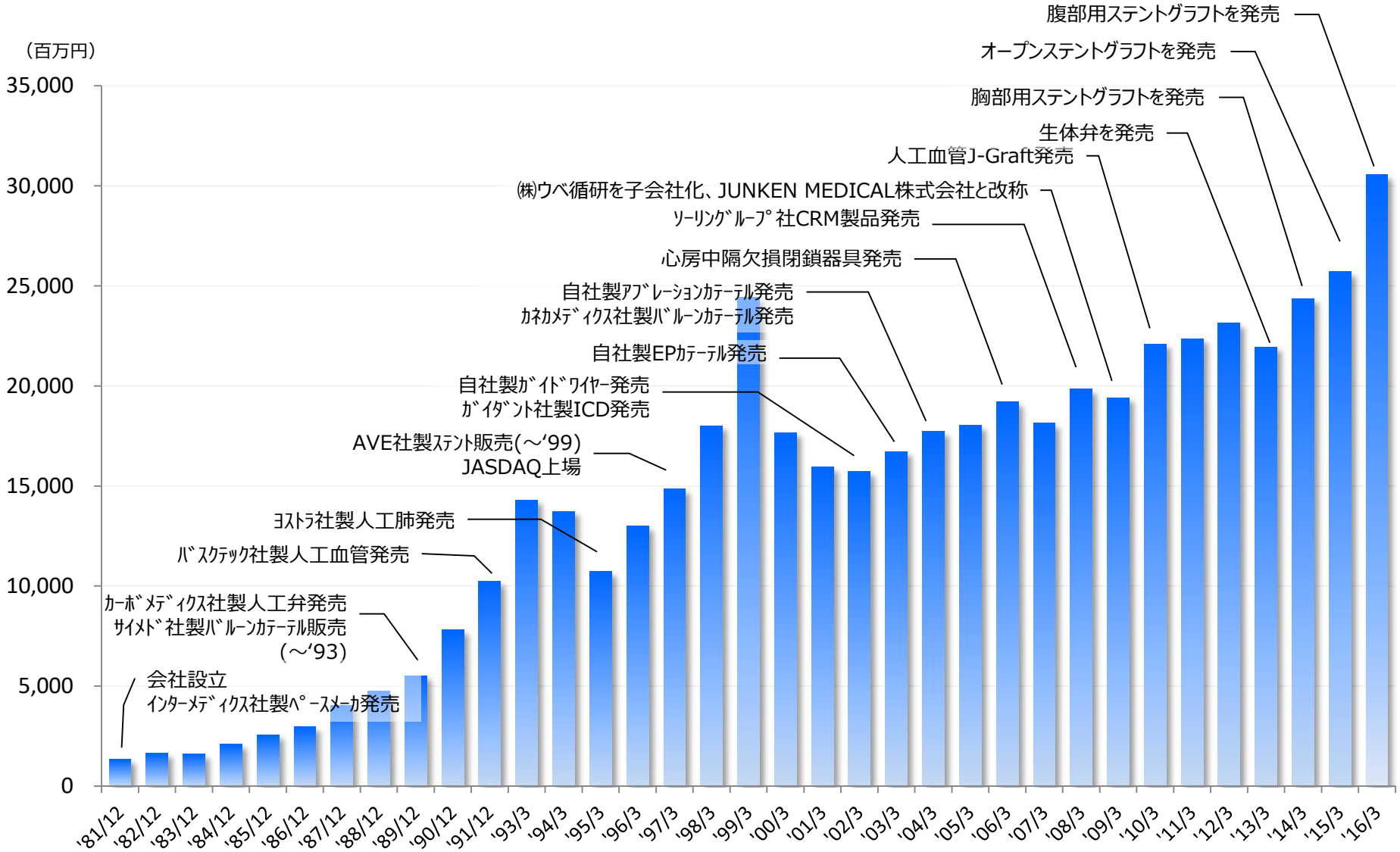
Japan Lifeline

会 社 概 要

会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長　鈴木啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20　天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
株式	東証一部
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結819名/単体645名（2016年9月末現在）
事業所	営業拠点36ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、リサーチセンター、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）
連結子会社	JUNKEN MEDICAL株式会社、SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、心宜医疗器械（深圳）有限公司

当社沿革と売上高推移



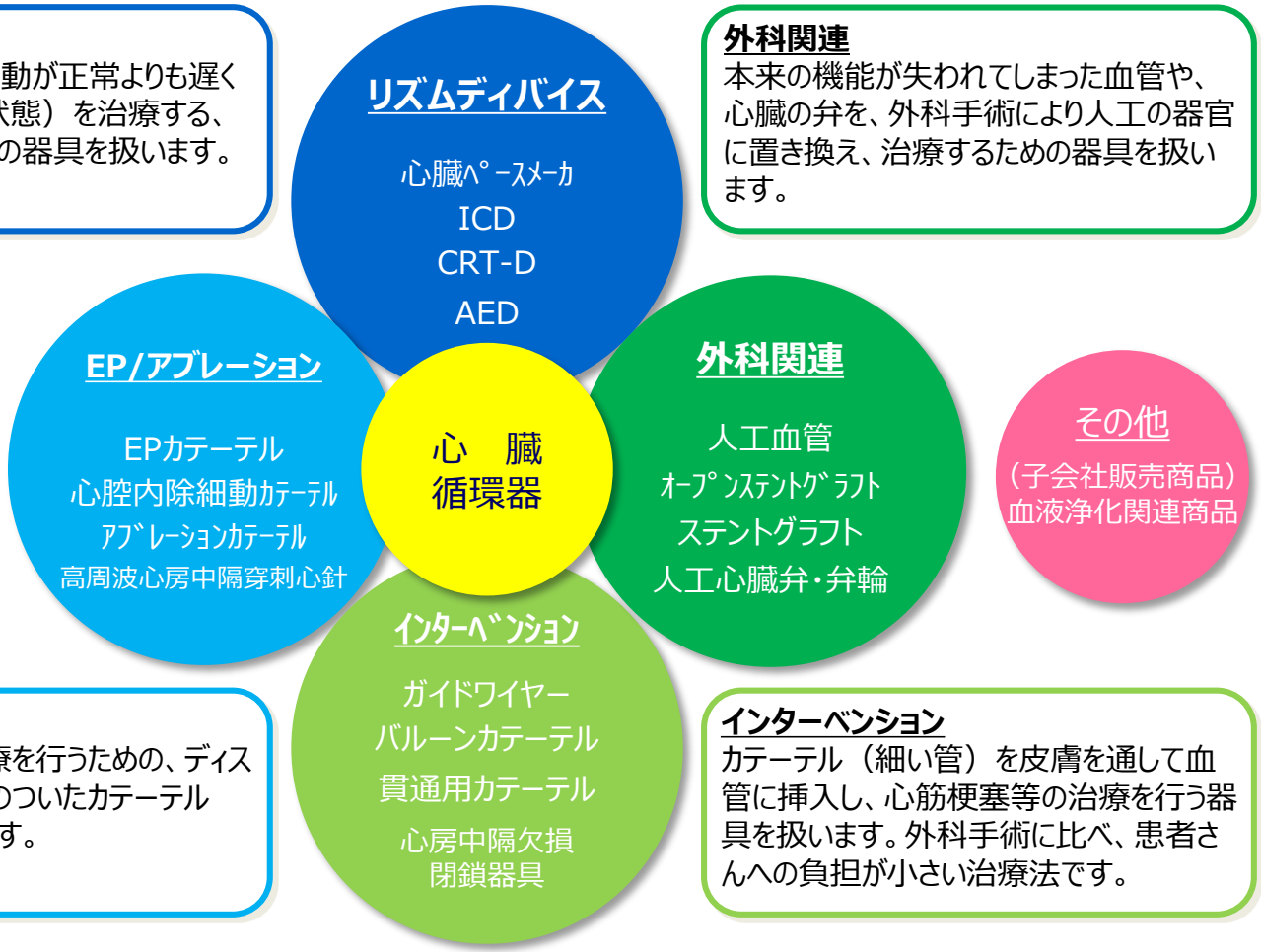
Japan Lifeline

事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の５つに大別されます。

リズムディバイス
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

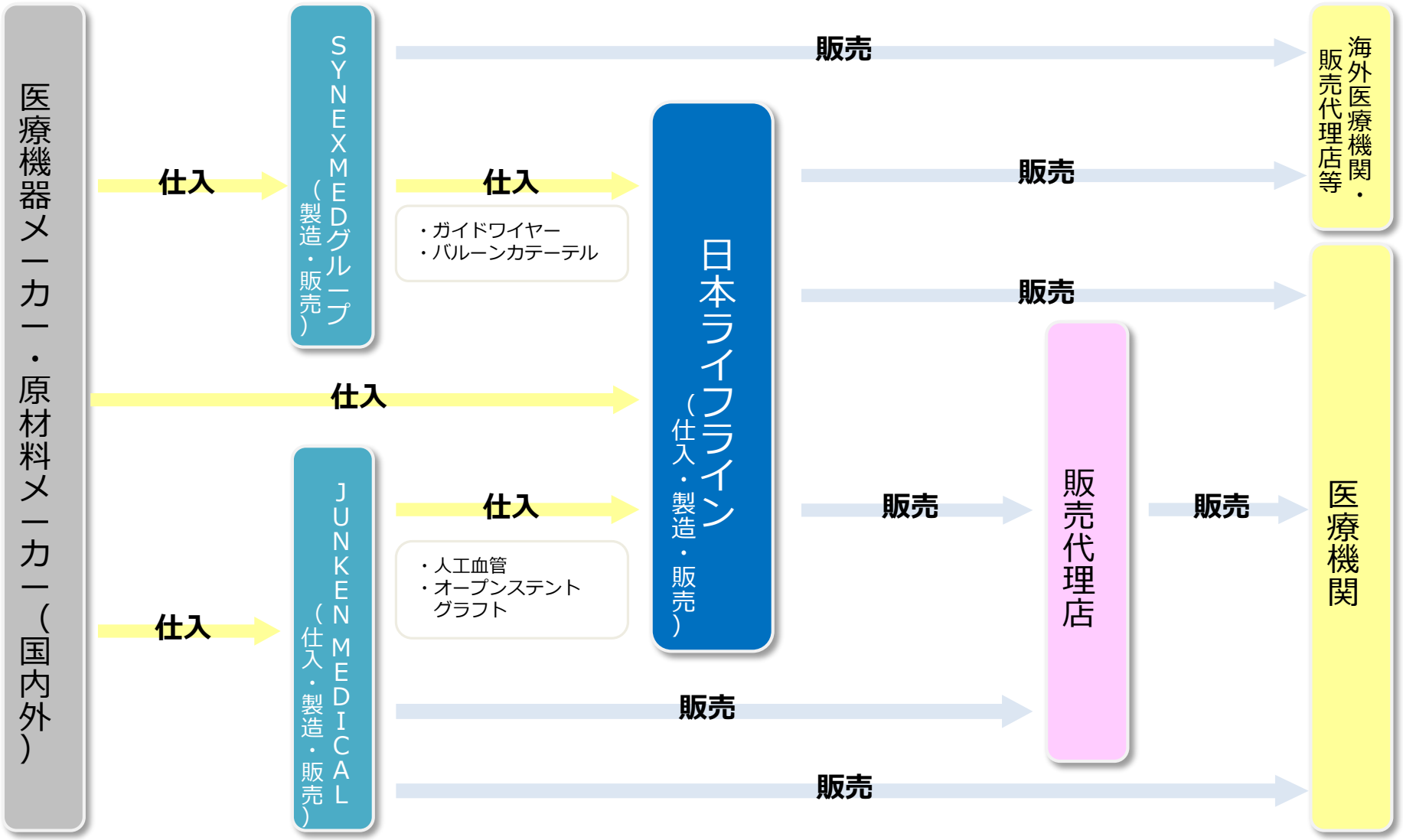


EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

Japan Lifeline

事業の系統図


医療機器メーカー・原材料メーカー（国内外）
仕入
SYNEXMEDグループ（製造・販売）
仕入
・ガイドワイヤー
・バルーンカテーテル
販売
海外医療機関・販売代理店等
仕入
日本ライフライン（仕入・製造・販売）
販売
販売
仕入
仕入
JUNKEN MEDICAL（仕入・製造・販売）
仕入
・人工血管
・オープンステント
グラフト
販売
販売
販売代理店
販売
医療機関
販売

商品紹介　リズムディバイス

心臓ペースメーカ

（LivaNova社製）



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

ICD（植込み型除細動器）

（LivaNova社製）



心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）

（LivaNova社製）



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

AED（自動体外式除細動器）

（NANOOMTECH社製）

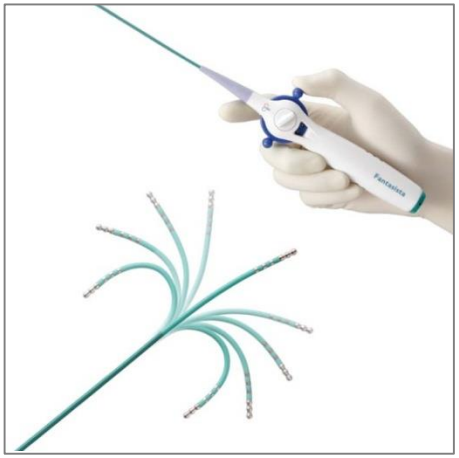


心室細動などにより心臓が突然停止した際に、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。操作が簡単なため、一般の方も使用することができます。

商品紹介　ＥＰ/アブレーション

アブレーションカテーテル

（自社製品）



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることにより治療します。

EP（電気生理用）カテーテル

（自社製品）



不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

心腔内除細動カテーテル

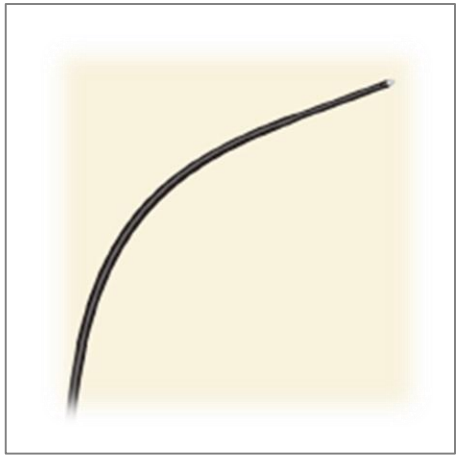
（自社製品）



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

高周波心房中隔穿刺針

（BAYLIS MEDICAL社製）

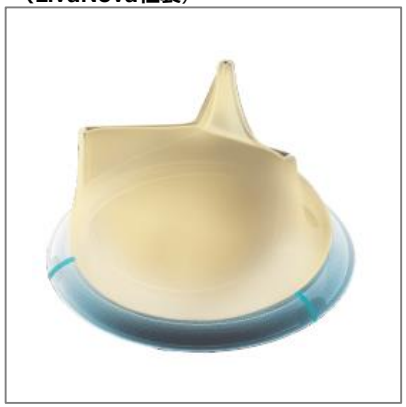


アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

商品紹介　外科関連

人工心臓弁

（LivaNova社製）



心臓弁が十分に開かない、また完全には閉じないなど、正常な血流を保てなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

心臓弁の疾患に対し、人工心臓弁に置き換えずに、自己の弁を温存し縫合等により治療する際に使用します。

人工弁輪

(LivaNova社製)



オープンステントグラフト

（JUNKEN MEDICAL社製）



大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

ステントグラフト

（BOLTON MEDICAL社製）



開胸手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

商品紹介　インターベンション

バルーンカテーテル

（自社製品）



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

ガイドワイヤー

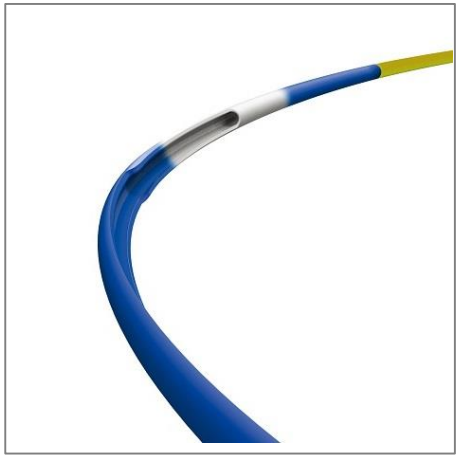
（自社製品）



バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

貫通用カテーテル

(Vascular Solutions社製)



バルーンカテーテルやステント等を冠動脈の治療部位へ送り届ける際に、ガイディングカテーテルをサポートし、手技をスムーズかつ効率的に行うために用います。

心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech Holding AG社製)



先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営戦略部
TEL:　03-6711-5214
E-Mail: ir@jll.co.jp
URL: http://www.jll.co.jp